

年頭のごあいさつ



鞍手町長 柴田好輝

新年明けましておめでとうございませう。町民の皆さまには、平成23年の希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

鞍手町にとりましては、いよいよ「インターネット」の供用開始と大きな転換期となる新年を迎えました。

現在、わが国は慢性的な経済不況の中にあり、政権交代などもあって、国と地方の関係をはじめとして、国際社会の平和と安全に対する新たな脅威が生じるなど、時代は大きな転換期を迎えています。さらに私たちを取り巻く社会情勢も、厳しい財政事情をはじめ、人口減少、都市と地方の間の不均衡、地球規模での環境問題、高度情報化の進展、人権や教育問題等々、数多くの

謹んで新年のお慶びを申し上げます 平成23年元旦

課題に直面しているのが実情です。

こうしたときにこそ、迅速かつ的確に対応し、その責務を果たすのが行政を預かる者の任であると思えます。

昨年4月、私は2期目の町政を担当させていただくこととなりましたが、これまで町民の皆さまから私に託された「鞍手町の再生」をひしひしと身にしみ感じ、町長の責務の重大さを痛感しているところで

す。こうして町政を担うことができません。もとえに町民の皆さまをはじめ、関係各位のご理解とご支援の賜でありまして、この機会に改めて厚くお礼申し上げる次第です。

私は就任以来、行政と住民の信頼関係の

構築を念頭におき、「第4次鞍手町総合計画」に掲げる「地域に力を」「人に感動を」「暮らしに安心を」「みんなで町をつくる」の4つの柱を基本に、重点的、優先的に実施する基本的な町の施策を位置づけ、町民の皆様の医療、福祉、教育、安全など社会的セーフティネットを整備しつつ、産業振興や住民福祉の向上に向けて各種事業を展開してまいりました。特に懸案事項でありました鞍手南・北中学校校舎の耐震化による教育施設の安全確保を実現するとともに、安全でおいしい水道水を供給するための高度浄水施設の工事着手など、安全・安心の町づくりの一環として施設整備にも取り組んでまいりました。

今後は、地方分権や少子高齢化社会に

も対応した福祉の向上や生活の安定に向けた、活気あるまちづくりを目指すため、「第4次鞍手町総合計画後期基本計画」や限られた財源や資源を最大限に活用し、町民の皆様が必要とするサービスの向上と、新たな課題やニーズに迅速かつ的確に対応できるよう、「第5次鞍手町行政財政改革プラン」の策定など、将来を見据え、その基盤を一層ゆるぎのないものとするため、現在、さまざまな施策の準備に取り組んでいます。

特に、今年、私たちが待ち望んでおりました「インターネット」とその「アクセス道路」が開通することとなっております。このことは、本町のまちづくりを支える基盤施設として、企業誘致、住宅団地の誘致、商工業の振興などが大きく進展する

ものと期待し、必ずや鞍手町は飛躍するものと信じてやみません。今後も、時代の変化や改革の潮流を乗り越えながら、強い決意を持って、町の可能性を最大限に活かし、常に心は豊かで、「安全・安心」で活気ある「まちづくり」の実現に向け、町民の皆さまと協働して取り組んでまいります。

なにとぞ、皆さまの一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、新しい年が皆さまにとりまして、さらなる飛躍の年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

